

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆IR部署・担当者、東証が上場企業に義務付け 違反は罰則

・東京証券取引所は投資家向け広報(IR)の体制整備を上場企業に義務化する。今夏にも上場企業が従うべきルールを定めた「企業行動規範」に盛り込む。IRの担当役員や担当部署を置くことを求め、説明会や資料の充実も促す。投資家との対話を通じ、中長期の株価上昇を意識した経営を定着させる。

#### ◆3月の消費者心理、4カ月連続低下 判断は据え置き

・内閣府が発表した3月の消費動向調査で消費者態度指数(2人以上の世帯、季節調整値)は前月から0.7ポイント低下し、34.1。4カ月連続で低下し、2年ぶりの低い水準。基調判断は「足踏みがみられる」で据え置いた。げ幅が最大だったのは「雇用環境」で1.7ポイント低下。「暮らし向き」は0.6ポイント下がった。

#### ◆1～3月GDP予測、ほぼゼロ成長 日経センター4月調査

・日本経済研究センターがまとめた民間エコノミストの経済見通し「ESPフォーキャスト調査」によると、1～3月期のGDPの予測平均は前期比年率で0.08%増、ほぼゼロ成長との見通しに。3月の前回調査(0.16%)から下方修正した。調査期間は25年3月27日～4月3日。個人消費の予測平均は前期比0.01%減とほぼ横ばいだった

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆ダイキン、電話応答の3割AIで 修理受付で繁忙期に備え

・ダイキン工業は2025年夏をめどに修理受け付けなどの電話対応のうち3割を人工知能(AI)での自動応答に切り替える。24年夏は約1割にとどまっていたが、修理金額の見積もりなど新たに対応できる内容を増やし、自動化の割合を高める。顧客からの問い合わせが集中する繁忙期の人手不足や対応の遅れを防ぐ。

#### ◆鉄スクラップ、需要減でも値上がり トランプ関税飛び火

・主に電炉の鉄鋼メーカーが原料につかう鉄スクラップの東京地区の取引価格が2月末に比べて4%上昇し、約3カ月ぶりの高水準になった。トランプ米政権による鉄鋼への追加関税を受け米国でスクラップが急騰し、日本にも飛び火した。国内の鉄鋼生産が低調でスクラップ需要が減っているなか、異例の値上がりが続いている。

#### ◆建設業の景気DIは横ばい 地方の開発ニーズが下支え—TDB調査

・帝国データバンクが公表した2025年3月の「景気動向調査結果」によると、景気DIは前月から横ばいの43.5。「建設」のDIは46.7で同じく横ばい。世界経済の不確実性高まりにより、当面横ばい傾向が続くと予想。業種別では10業界中7業界が改善。「不動産」(DI:47.6)が3カ月ぶりの改善となり、地方部での景況感を押し上げ。

### 《 注目商品 》

#### ■東芝ライフスタイル、赤外線センサー搭載 過熱水蒸気オープンレンジ

・業界最高オープン温度350℃の過熱水蒸気オープンレンジ「石窯ドーム」の新製品として、従来の約3倍の精度で温度やムラの検知が可能になった赤外線センサー「ファインeyeセンサー」を新搭載したER-D7000Bなど全4機種を6月より順次発売。



#### ■YKK AP、木質インテリア建材の新シリーズ「Smayell(スマエル)」

・新たな木質インテリア建材シリーズ「Smayell(スマエル)」を6月2日から発売。室内ドア・引戸のフルリニューアルをはじめとした、木質インテリア建材全体の刷新をはかり、家族のライフスタイルにぴったりの心地よい住まいづくりを応援(エール)。



#### ■三協アルミ、カーポート型太陽光パネル架台に「後方支持タイプ」

・カーポート型の太陽光パネル架台「エネジアース」に「後方支持タイプ」をラインアップ。昨年6月に発売した両支持タイプの「エネジアース」は、従来よりも価格を3割抑えたとともに施工性・使い勝手を向上して好評を得ているという。

